

私の思いを皆に伝えます。

私の幼少期の生い立ちをお話することが分かってもらいやすいかと思います。

一言でいうと、非常に人に恵まれた人生です。

物心つく頃は母が病気で入院していて、父親が汗水たらして働いていて
とても親が僕の面倒をみられる状況ではなかったんです。

ですが、本当に色々な方が面倒を見てくださって

そこには愛情があって、さみしいと思った記憶が無いぐらいです。

色々な方といいましたが、人種や国籍も関係ないんです。

特に印象に残っているのはみんなですごした施設の思い出で、0歳位から4・5歳位までの子が
20人位一緒に暮らしていて朝起きると皆でベランダに出て歯磨きをします。

年上の子が下の子の面倒を見ながらみんな楽しく笑いながら歯磨きをするんです！

3時のおやつの時間は、一つ、二つの袋を皆で分けて食べます。

当時カールというスナック菓子がありまして、子供達の指にそれぞれ平等に

カールを指にはめていくんです。ですから両手の指一杯のお菓子ですら食べたことがなかったんです。

ですが誰も文句を言う子もいませんでしたむしろ指輪のようにして

遊んで楽しく笑いながら食べていた思い出しかありません。

夜寝る時は、一つの広い部屋に皆で布団を突き付けて一緒に寝て朝起きると

寝ている場所が変わっていることに大笑いした事。そのすべてが幸せであったと今でも想っています。

このように私は裕福ではありませんでしたが、

たくさんの人と繋がって生きてきました。

ですが実際、社会で生きていくためにはお金は大事です。

そのお金を生むには、時間が必要で時間を使ってお金を生んでいるということです。

人にとって時間は貴重で、できる事ならよりすごしやすいメンバーと時間を消費したいと思います。

それにより、より良い物や対価が得られるのであればそれは最高に幸せだと思います。

相手に対する感謝の気持ちをもって接していれば相手も良くしてあげようとすると思います。

素直な子供の気持ちは廻りの方が良くしてくれようと愛情を注いでくれたんだと思います。

本当に大切な物はお金では買えないんだと私は気付きました。

私は会社を通して社会に貢献していく上で本当に大切な物（気持ち）を
お客様に提供できるようコミュニティを広げていきたいと思っています。